



「景観計画」を策定します

市民が親しみ、次代に引き継ぐ景観の保全を目指して

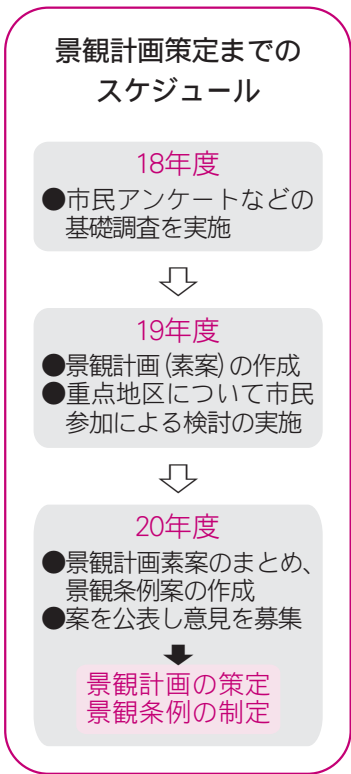
「地域特性に応じた景観の形成」を掲げ、「景観計画(※)」の策定に取り組みることとしています。先行した取り組みとして、平泉文化遺産の構成資産、骨寺村荘園遺跡のある本寺地区で景観計画および景観条例を18年4月にスタートしました。

今後は、市の全域を対象とした「関市景観計画」の策定に向けた作業を進めていきます。

※景観計画とは
景観法に基づき、「景観行政団体」が、良好な景観の形成を図るために、その基本的な方針や建物、工作物の新築などの行為への制限に関する事項などを定める計画です(景観行政団体とは、地域の景観行政を担当する自治体の呼び名で、市は17年12月26日に景観行政団体になりました)。

本市の豊かな自然の眺めや由緒ある歴史的・文化的風景、趣のある街並みなど、魅力あふれる景観を守り、育て、つくり、次の世代に引き継ぐため、市は、昨年度策定した「関市総合計画」に

「市民参加による策定を進めます」
昨年度は、「一関らしい」景観や整備・保全の必要な場所などについて市民アンケートを行いました。その概要は左のページ



今年度は、インターネットによる意見募集などを行い、市民アンケートの結果と併せて参考としながら、景観計画の素案を作成します。また、市内で重点的に景観づくりに取り組んでいく地区(重点検討地区)を選定し、市民参加形式のワークショップにより地区の景観形成上の課題やそのための取り組み方法、さらに景観をコントロールするための行為の制限などについて検討します。

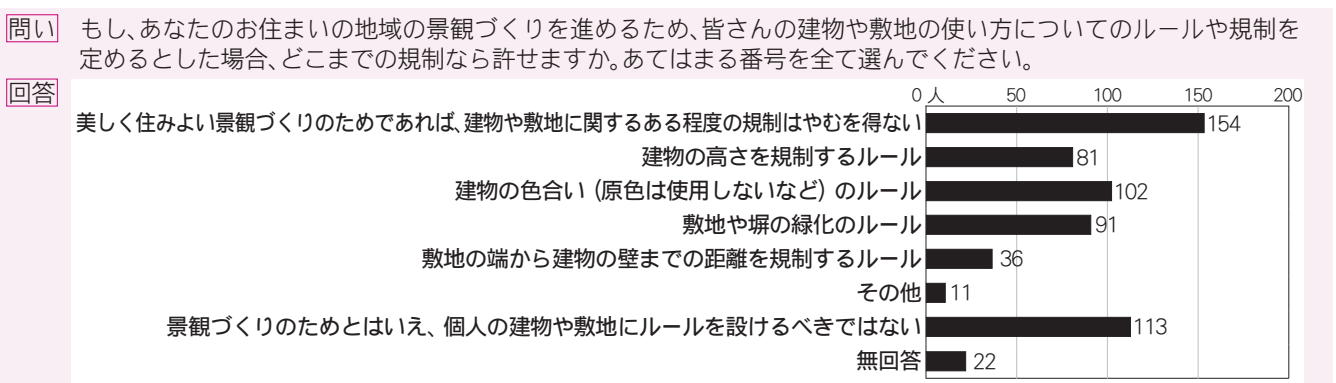
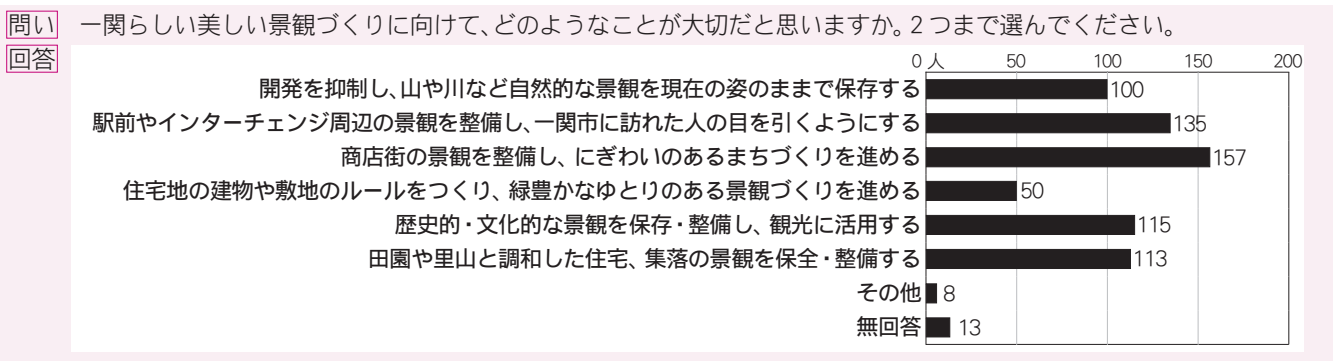
これらに基づいて、20年度を目標に「景観計画」の策定と「景観条例」の制定を行います。

◎問い合わせ先
本庁建築住宅課建築指導係

市民アンケート結果(抜粋)

19年2月26日～3月12日までの期間、無作為抽出による満18歳以上の市内在住者1000人を対象にアンケートを行い、371人(男182人、女186人、不明3人)から回答をいただきました(回収率37.1%)。アンケート全体の結果については、市ホームページへ掲載する予定です。

- 問い** 市全体の中で「一関らしい」景観はどこだとお考えですか。(記述回答)
- 回答** 「栗駒山(須川岳含む)」(50件)、「厳美溪」(40件)、「磐井川」(25件)が多い回答でした。視点場としては「釣山」が最も多く、「釣山から見た磐井川」(11件)、「釣山から見た市内全景等」(7件)などが上位を占めています。
- 問い** 市内で最も整備や保全の取り組みが必要な場所はどこだとお考えですか。(記述回答)
- 回答** 「駅前整備」(59件)が最も多く、その中でも「一関駅前」(57件)が大半を占めています。次に多いのが「商店街整備」(20件)で、内訳としては「一関駅前」(9件)、「一関大町」(7件)などとなりました。



皆さんの声をお寄せください

景観まちづくりポータルサイトを開設しました
景観まちづくりに関する情報提供や市民の皆さんからのいろいろな意見を募集するため、「一関市景観まちづくりポータルサイト」を開設しました。
市ホームページのトップページからお入りください。
【まちづくりマップ】
皆さんの感じている一関市やお住まいの身近な地域の景観資源を地図上に投稿していただく目的で作成しました。皆さんの参加とご協力をお願いします。
使用方法などにつきましては同サイトをご覧ください。

ポータルサイトからもダウンロードできます)。
◇選定…応募いただいた内容は「一関百景」としてとりまとめ、公表します(個別に賞を定めるものではありません)。

景観まちづくり懇談会を開催します
景観計画策定に向けて、より多くの皆さんから景観についての思いや日ごろ感じていることをお聞きするため、地域ごとに住民懇談会を開催します。どなたでも参加できます。
会場には、骨寺村荘園遺跡のパネル展示も行います。

地域	月日	会場
一関	7月26日(木)	一関文化センター小ホール
花泉	7月25日(水)	花泉支所東大会議室
大東	7月31日(火)	大原公民館2階大会議室
千厩	8月2日(木)	千厩支所2階大会議室
東山	7月24日(火)	東山支所第1会議室
室根	7月30日(月)	室根支所曲るくホール
川崎	8月1日(水)	川崎公民館ホール

※時間はいずれも19:00～20:30

一関の魅力あふれる風景・景観を募集します
市内の次のような風景・景観を募集します。
▽あなたが「一関らしい」と感じる風景・景観
▽美しく心に残る風景・景観
▽活気やにぎわいのある風景・景観
▽機能的で未来を感じる風景・景観
▽由緒ある趣深い風景・景観など
◇応募対象…どなたでも応募できます。
◇応募方法…市役所・各支所などに備え付けの応募用紙に記入の上、応募してください(応募用紙は景観まちづくり

(有)スガワラ製作所立地調印

新市として6社目、本年度は初となる誘致企業として、各種電子部品などの組み立て加工、検査を行う有有限会社スガワラ製作所(本社市内花泉町、資本金300万円、菅原祐一代表取締役)の立地が決定しました。

6月27日、市役所本庁で行われた立地協定調印式には、菅原代表取締役と浅井市長、松川求岩手県南広域振興局一関総合支局長、佐々木時雄市議会議長らが出席。菅原代表取締役と浅井市長が、立地協定書に調印しました。

調印後、浅井市長は「御社の進出は、市の経済活性化に大いに貢献いただけたものと確信している。市としても関係機関とともにバックアップさせていたたくと歓迎。菅原代表取締役は「協定を機に決意を新たにし、品質、納期、コストの諸条件を一層高め、顧客からの信頼はもとより、一関、両磐地域に貢献し、皆様に愛される会社にしていきます」とあいさつしました。

昭和45年に栗原市金成町で創業した同社は、自動車用コネクタ部品および各種電子部品など

の組み立て加工およびこれに関連する検査業務などを主力としています。平成17年に花泉町花泉地区内に本社工場敷地2356平方メートルを設置し、18年1月から一部仮操業を行ってきましたが、増大する受注要請からさらなる工場拡大が必要となり、このたび千厩町千厩地区内に「千厩検査センター」を設置。これにより一連の工場計画が確定したこと、市との立地協定調印となりました。

今後は9月の本操業に向け従業員採用などを進め、現在の50人体制から最終的に70人程度の体制とする計画となっています。

協定書調印を終え握手を交わす(左から)松川県南広域振興局一関総合支局長、菅原代表取締役、浅井市長、佐々木市議会議長